

2017年2月23日 木曜日

開会挨拶・開催地代表挨拶・顧問挨拶



小林真也実行委員長、松山市副市長梅岡伸一郎氏、辻井重男顧問からご挨拶頂いた。

(小林先生) 今年で6回目を迎える。今年は新しくサテライト会場や学生研究表彰、初心者向けセキュリティハンズオンなど人材育成の場を作った。少しずつ発展的な場にしていきたい。

(梅岡副市長) 道後温泉は日本全国から来ていただいている。また女性からの人気も多くいただいている。今夜は温泉に入ってもらって、ご家族やご友人に魅力を伝えていただければと思う。

(辻井先生) メールのセキュリティが問題になっているが S/MIME を使ってはどうでしょうか。

基調講演



総務省 大森一顕 氏から「総務省におけるサイバーセキュリティ政策に関する最新の動向」というテーマで基調講演が行われた。近年では攻撃手法が巧妙化し被害が拡大・長期化する傾向にある。政府では新サイバーセキュリティ戦略を決定し、NISCを中心に、社会の持続的発展、重要イ

ンフラなどを守る仕組み、サイバー犯罪対処能力強化、国際社会の安定、人材育成を行っている。

総務省では、実践的サイバー防御演習（CYDER）を平成 25 年から全国で開催しており、東京オリンピックに向けたセキュリティ人材育成（コロッセオ）や若手セキュリティ人材育成なども加えて「ナショナルサイバートレーニングセンター（仮称）」の構築を予算化している。また、ISAC（アイザック）による業者・団体間の情報分析共有、国際会議などを通じた国際連携にも力を入れている。その他、近年 IoT におけるセキュリティ脅威が増えており、IoT セキュリティガイドラインの制定、IoT セキュリティ対策の実施や人材育成など様々な施策を実施している。

SEC 道後プレ・セキュリティハンズオンセミナー

セキュリティハンズオンセミナーが 2 月 19 日（日）10:00-18:00 愛媛大学工学部情報工学科の計算機室で開催され、高校生・専門学校生・大学生・社会人の参加者および見学者約 70 名が参加した。総合司会 富士通株式会社 佳山こうせつ氏から、情報倫理、脆弱性が講義され、もし脆弱性を見つけたら管理者に直接連絡せず第一窓口の IPA に連絡するように注意があった。また、現代のサイバー攻撃の事例などが紹介されセキュリティを設計に加味しながらイノベーティブなサービスを作るという考えを持ち帰ってほしいと説明されていた。そのあとランサムウェアや標的型攻撃の体験と、車載ネットワークのセキュリティ、Web に関するセキュリティに関する 3 つのハンズオンセミナー（体験型学習）を行ったあと、演習として 3 つのセミナーに関する内容について CTF を行った。



愛媛大学情報工学科の会場風景



ランサムウェアを体験